

行政評価シート(事後評価)

コード 5-2-1	事務事業名 敬老行事実施事業	所管部課 福祉部高齢者支援課
--------------	-------------------	-------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	敬老月間(9月)内に地域の高齢者を含めた個人・地域団体の方々の企画・参加により行われる敬老行事に対し助成し、地域福祉の向上を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	70歳以上の高齢者が15名以上参加した行事に対し、1行事につき20,000円を限度に助成する。	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			6,156	6,149	3,777
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
内: 地方債						
内: その他()						
財源	一般財源		6,156	6,149	3,777	4,251
所要人員(B)		人	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	819	816	816	816
臨時職員等賃金(C')		千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	6,975	6,965	4,593	5,067
単位当たりコスト						
(E)=(D)/(申請件数)		千円	34	34	25	#DIV/0!

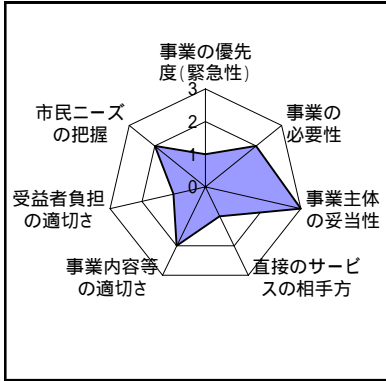
評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	申請件数	実績値	件	205	204	187	
給付団体数	実績値	団体	205	204	187		
(指標の説明・数値変化の理由 など) 平成19年度より補助金額が30,000円から20,000円に変更になり、補助金の範囲内で行える行事に制約が出たことなどが申請件数減少の理由と思われる。							
評価指標の設定	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一次 延参加人数	目標値	人				
実績値		人	5,222	5,280	4,756		
二次	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 申請件数の減少に伴い、参加人数が減少している。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	26市で同様の事業を実施しているのは他に1市(あきる野市)のみである。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	敬老金、高齢者福祉大会、老人クラブ

コード 5-2-1	事務事業名 敬老行事実施事業	所管部課 福祉部高齢者支援課
--------------	-------------------	-------------------

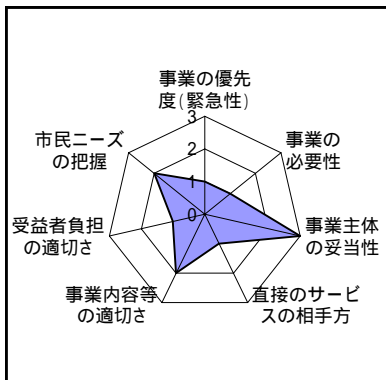
【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	敬老のお祝いとして実施している事業であるが、同様の目的で実施している事業は他にもあり、また、申請団体も老人クラブの参加者と重複しているケースが多くあることから、対象者等の見直しを検討する必要があると思われる。
事業の必要性	2		
事業主体の妥当性	3		
直接のサービスの相手方	1		
事業内容等の適切さ	2		
受益者負担の適切さ	1		
市民ニーズの把握	2		



【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	敬老行事実施事業は、敬老大会に替わるものとして旧田無市で実施された事業であり、合併後は、毎年、こもれびホールで敬老大会が実施されていることから、平成18年の事務事業の見直しにより「段階的に廃止」の方針が出され、既に平成19年度において、補助金額の見直しが行われている。 なお、見直しに当たっては、高齢者の活動支援の拡充を目指し、年間を通して実施する高齢者の生きがい推進事業等に振り替えていく必要がある。
事業の必要性	1		
事業主体の妥当性	3		
直接のサービスの相手方	1		
事業内容等の適切さ	2		
受益者負担の適切さ	1		
市民ニーズの把握	2		



【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	高齢化が急速に進む現状を踏まえると、本事業には、高齢者の生きがい推進等の観点から意義が認められる。一方で、敬老大会などの類似事業が多く、対象団体も老人クラブと重複していることから、整理が必要である。今後は、平成18年度に段階的に廃止する旨の方針が出されていることを踏まえ、規模や対象者の適正化に向けて、抜本的な見直しに取り組まれない。その際、『高齢者保健福祉計画』の改定など、高齢者福祉施策全体の動向も考慮しながら、幅広い高齢者の方に対する活動支援の拡充につながるよう、十分留意されたい。